



5月12日 JTSU-E 大地申第6号

2022年3月ダイヤ改正で生じた日光線及び宇都宮線(小山～黒磯)の輸送品質低下の改善を求める緊急申し入れ交渉開催！【その7】

4. 車両とホームの段差が大きい駅については、旅客の安全のためにホームの嵩上げを実施すること。

(回答) お客さまのご利用しやすい設備について、引き続き検討していく考えである。

5. 鹿沼駅 2 番線ホームはホーム幅が狭いため、分散乗車をしやすくするためにホーム幅を拡幅すること。

(回答) 現行の設備において、今後もスムーズにご利用いただけるようお客さま案内等に努めていく考えである。

団体交渉のやりとり

組合

- ◆ 鹿沼駅のホームにあるベンチが中央にあり、お客さまが通行を阻害する物理的根拠があるのではないかと感じている。現段階でどのように考えているのか。
- ◆ ホームの嵩上げについて、どのように考えているのか。
- ◆ 日光線 826M のホームの混雑について、首都圏とは違い列車間隔が開いており、お客さまが集まっている。ホームの拡幅など、可能な限り改善に向けて検討すべきだ。
- ◆ 宇都宮線宇都宮駅ホームについて、エスカレーターを降りた場所に鉄製の柵を設置するなど滞留しない対策を検討すること。

会社

- 鹿沼駅ベンチの移動については、現在のところ議論になっていない。注意喚起を行い分散乗車を呼びかけている。
- ホームの嵩上げに関しては、今市駅を行った。今後は、日光駅の嵩上げを検討している。

4 項～5 項 確認事項

- 今後日光駅のホーム嵩上げは計画検討中。
- 問題視した鹿沼駅のベンチの移設は、議論の俎上にも上がっていない。

ご利用のお客さまのご意見に耳を傾けず、「混雑するから」「利用する時間に列車がないから」と通勤・通学客、交通弱者から敬遠され、地域に住む人々のご利用を減らしつつける。その原因は『会社だ!』
今後も、地域で利用する人々に愛される鉄道を目指し働く乗務員の安全を求め、継続して取り組んでいきます!